

## コングスタントリスクモデル

### コングスタントリスクモデル こんすたんとりすくもでる

放射線の確率的影響について、被ばく線量とその人体への効果との関係を考える場合に、線量に対するリスク係数が被ばく後の経過時間に依存せず、一定（コングスタント）であるという仮定のもとに、リスク評価を行う評価方法（モデル）のこと。このリスク係数は被ばく者の性、被ばく時年齢のほか、被ばく後の経過時間にも依存すると考えられている。これまでの「BEIRベア報告-3」や「UNSC EAR 報告（1988）」などでは、リスク係数は被ばく後の経過時間に依存せず、一定であるという仮定（コングスタントリスクモデル）のもとに、リスク評価を行っている。その後「BEIR報告-5」では、時間依存性を考慮に入れたモデルを採用している。

---

<登録年月>

1998年02月

---

---